

# 臨時庁議の概要

開催日：平成19年12月7日（金）

## ◎項目

### 1 知事就任に当たっての挨拶

## ◎内容

### 1 知事就任に当たっての挨拶

尾崎知事の就任に当たっての挨拶と庁議メンバーの自己紹介を行った。

#### 【尾崎知事】

- ・ 今回の選挙戦で、基本姿勢として「対話と実行」ということを掲げてきた。「対話と実行」の県政を進めていく。
- ・ 本県は、若者の2人に1人が県外に就職で出て行ってしまう厳しい状況、他方では、全国でも最下位レベルの財政状況にある。やらなければならないことは沢山あるが、できることには限りがあるこのような厳しい状況においては、対話を通じて納得感のある政策づくりをしていくことが重要である。
- ・ また、対立をして足踏みするのではなく、力を合わせてスピード感をもって実行していくことが重要である。この二つの気持ちから「対話と実行」という基本姿勢を示したところである。
- ・ 私自身40歳で若いということもあるが、何より高知を離れて久しい。私は霞ヶ関のことは、一定の知見を持っているつもりであるが、高知県政については、これから勉強していかなければならない点も多々ある。
- ・ ぜひ、経験豊かな皆さんのご指導もいただきながら、力を合わせて仕事をさせていただきたい。皆さんの豊かな経験と知恵を活かして、私とともに、県勢浮揚のため頑張ってくださいたいので、よろしく願いしたい。
- ・ 選挙戦を通じて二つのことを感じた。一点目は、本当に県民の方々は大変な思いをしておられる。その中で、県庁、特に幹部職員である皆さんが、将来に希望を失ってしまっは大変なことである。決して将来をあきらめることなく、「何もできない」ではなく、「何かができるはずだ」というつもりで必ず頑張ってくださいたい。「金がないからできません」というのであれば、「だったら、知恵で何ができるのか」を私も常に問わせていただく。
- ・ 二点目は、このような厳しい状況であるからこそ、しっかりと県民の皆様に対して納得をしていただくことが大切である。そんなに色良いことばかり言えるわけではない。だからこそ納得を得ることが大切である。そのためには、「何ゆえにこうするのか」という理屈をしっかりと詰めて、分かりやすく県民の皆様説明する、発信する姿勢が非常に大切である。
- ・ ぜひ活発な議論をしていきたい。視線は常に県民を向けて。知事ではなく県民に視線を向けた議論を知事室でさせていただきたい。私もよく皆さんのところに向向いて率直な話をしていきたいと思うので、是非よろしく願いしたい。

以上